Combi

コンビ ベビーカー

ココットコンパクトW

EGα BU-720　EG BU-620

取扱説明書

品質保証書付

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■本書は大切に保管してください。
■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。
■本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

安全基準A型
(1ヵ月～24ヵ月まで)

※イラストは、BU-620です。

もくじ

ご使用の前に

●この製品は、一般家庭で乳幼児を乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車(ベビーカー)です。

●望ましい連続使用時間：2時間以内（ただし、7ヵ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内）

●使用できるお子さまの年齢：生後1ヵ月※以上24ヵ月以内（お子さまの発育により個人差があります）
※生後1ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1ヵ月経過した乳児を示します。

開封されましたら各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

●ココットコンパクトW 本体

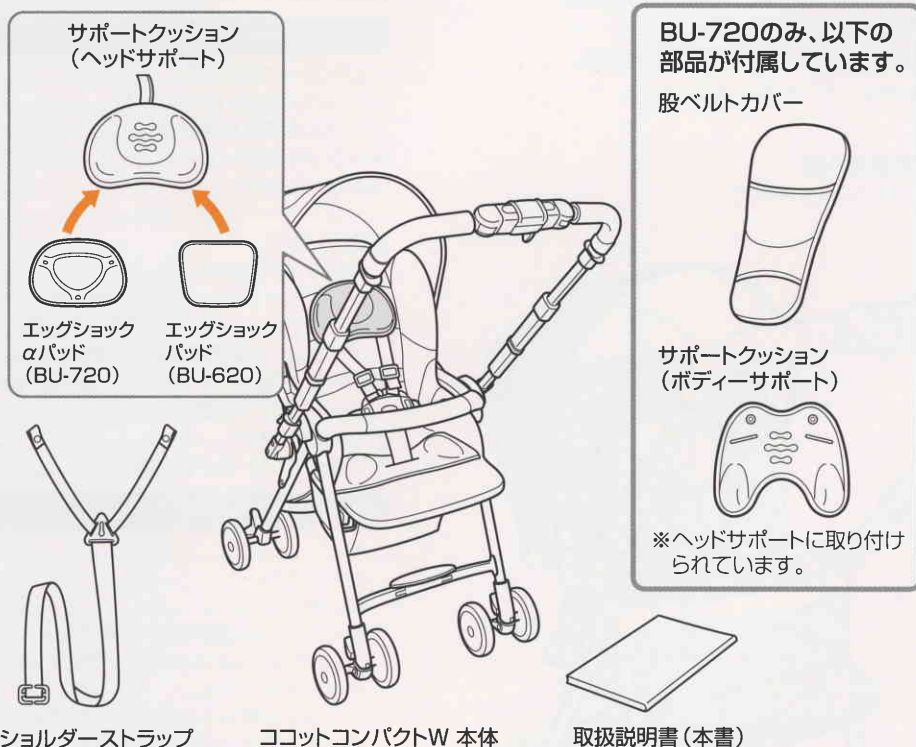
以下の部品は、本体に取り付けられています。

・ショルダーストラップ

●幌

●サポートクッション(ヘッドサポート)

●エッグショックαパッド(BU-720)
(BU-620は、エッグショックパッド)

●取扱説明書(本書)

● 組み立てる前に、33ページ「品質保証書」に次の項目を記入してください。
① ロットNo.(後脚後側に貼ってあるシールに記載されています。)
② お客様のお名前・ご住所・電話番号
③ 販売店名

安全にご使用いただくために

●製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。

●ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、ご使用者およびお子さまへの危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。
安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告/注意を促す内容があることを告げるものです。
✕	禁止行為であることを告げるものです。

	補足説明

⚠警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

乳幼児が落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

●開閉ロックが確実にかかっていること(ベビーカーが完全に開いた状態であるか)を確認してから使用してください。

●乳幼児を乗せたまま、フロントガードを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりするおそれがあります。

●階段、エスカレーター、段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。

●破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。

安全にご使用いただくために

⚠警告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

乳幼児が落ちるおそれがあります。

●股ベルト・腰ベルト・肩ベルトを必ず締めて使用してください。

●乳幼児は思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目を離さず、十分注意してご使用ください。

●乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。

ベビーカーが転倒して乳幼児が落ちるおそれがあります。

●乳幼児を乗せているとき、カゴ以外の所に荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。

●ベビーカーに同時に2人以上の乳幼児を乗せたり、乳幼児を着脱シート以外の所に乗せないでください。また、幼児を乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。

●ご使用中にハンドルによりかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。

ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

●ストッパーを過信しないでください。
ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。

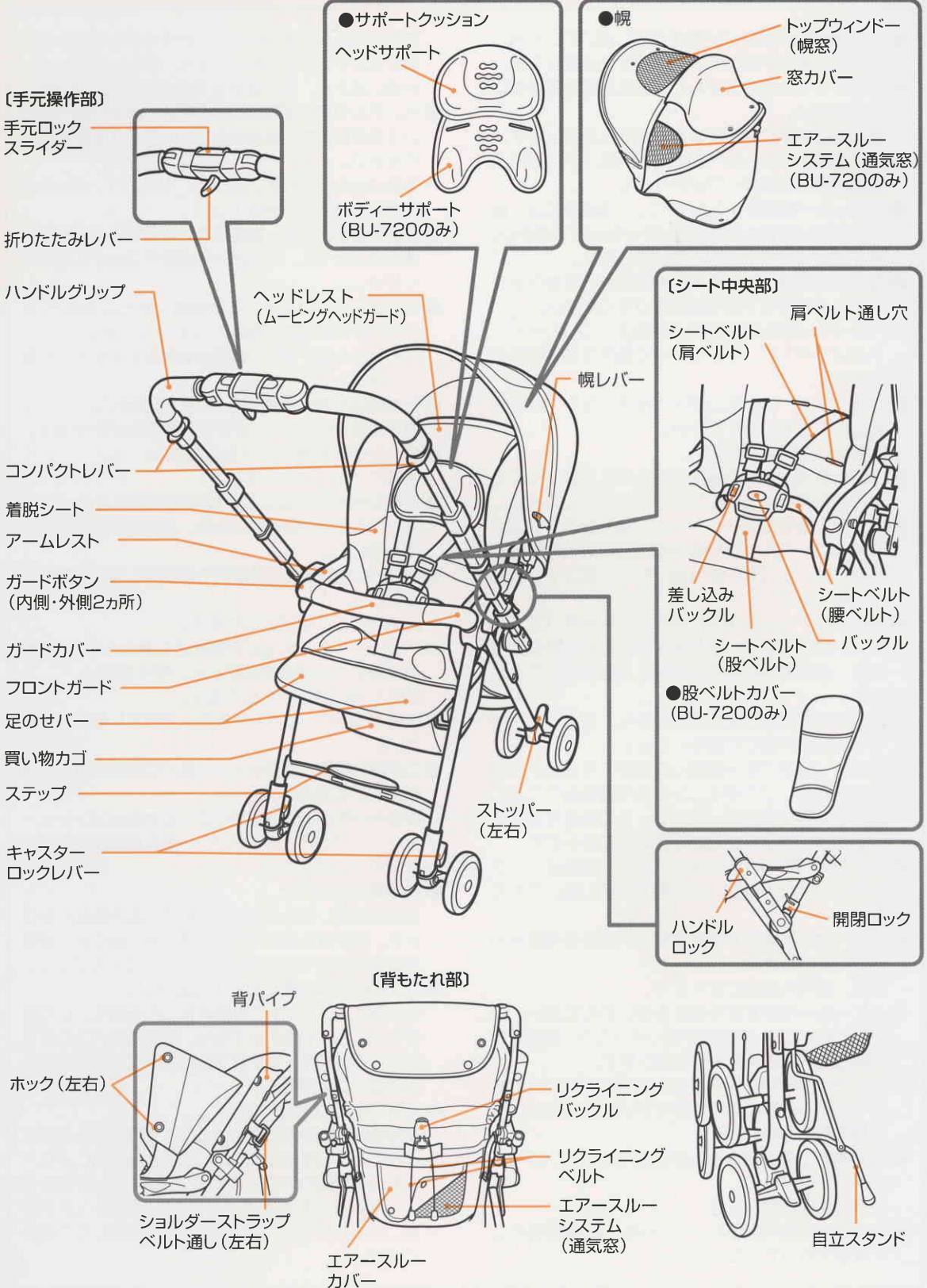
●乳幼児を乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。

●ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

⚠注意　取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

- **乳幼児を乗せる以外の目的で使用しないでください。**
  目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- **着脱シートを取りはずしたまま乳幼児を乗せないでください。**
  すき間に手や足などをはさむおそれがあります。
- **お子さまにベビーカーを操作させないでください。**
  転倒や思わぬ事故につながります。
- **ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には、他人や小さいお子さまを近づけずに行ってください。**
  指をはさんだりするおそれがあります。
- **乳幼児の乗車時はもちろん空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。**
  ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべって落下するおそれがあります。
- **フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。**
  破損のおそれがあります。
- **フロントガードには過度の力を加えないでください。また必要以上に広げたりしないでください。**
- **乳幼児を乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。乳幼児が抜け出したり、落下するおそれがあります。**
- **乳幼児がアームレストに手をかけたままハンドルを切り替えますと、手や指をはさむおそれがあります。必ず手をかけていないことを確認してください。**
- **お座りができない乳幼児の場合は、リクライニングを倒した状態でご使用ください。**
- **リクライニングを一番倒した状態でも乳幼児が窮屈な場合は、リクライニングを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この使用方法は寄りかかってお座りができる乳幼児に限ります。**
- **乳幼児の頭がヘッドレストに当たる場合は、リクライニングを一番倒した状態で使用しないでください。**
- **ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。**
  破損、故障の原因となります。
- **ベビーカーを押すときは走らないでください。**
  走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- **ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。**
  破損の原因となります。
- **買い物カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。**
  破損の原因となります。
- **ハンドルの高さ調節は、ベビーカーを3面折りにした状態で行ってください。**
  車体を開いた状態で行うと、折りたたみレバーが故障するおそれがあります。また、折りたたみレバーが幌にあたり、幌が変形するおそれがあります。
- **ハンドルの高さを調節したときは、必ず『カチッ』という音がしてロックがかかっていることを確認してください。**
  確実にロックされていないと、不意にハンドルの高さが変わるおそれがあります。
- **踏切を渡るときは、線路の溝に車輪を取られたり、挟まないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。**
- **雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。**
  ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
- **風の強いときには使用しないでください。**
  勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- **雷のときは使用しないでください。**
  落雷のおそれがあります。
- **夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。**
- **火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。**
  故障や変形の原因となります。
- **ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。**
  故障や変形の原因となります。
- **危険ですから、むやみに改造、分解をしないでください。**
- **ご使用の前に、ネジやナットなどにゆるみがないか確認してください。**
  ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- **長時間の使用禁止**
  長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。寝かせた姿勢では2時間以内、座らせた姿勢では1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- **バスの中では使用しないでください。**
  本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- **電車の中での使用について**
  本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

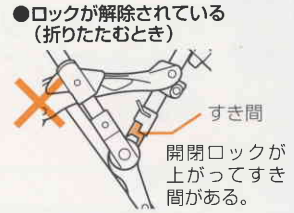
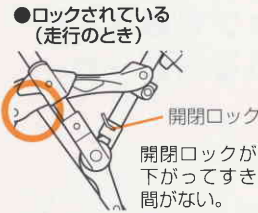
各部のなまえ

取りはずしてある部品は本文をよく読んで正しく取り付けてください。

ベビーカーの開きかた

⚠警告

- 使用する前に、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。（右図参照）
- 手元ロックスライダーを必ずロックして使用してください。無意識に折りたたみレバーを握ったときなど、急に折りたたまれるおそれがあります。
- ショルダーストラップは、ベビーカーを使用するときには、必ず買い物カゴに収納してください。障害物などに引っかかって転倒するおそれがあります。

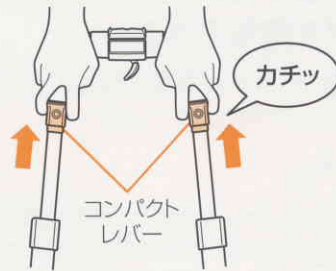
●ロックされている（走行のとき）

●ロックが解除されている（折りたたむとき）

⚠注意

- ベビーカーを開くときは他の人に触らせないでください。手をはさむ原因となります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 自立スタンドに無理な力を加えたり、持ち運びの際、ぶつけたり引きずったりしないでください。変形や、破損のおそれがあります。
- ベビーカーを持ち上げた状態で、折りたたみレバーを握りロックを解除すると、破損のおそれがあります。

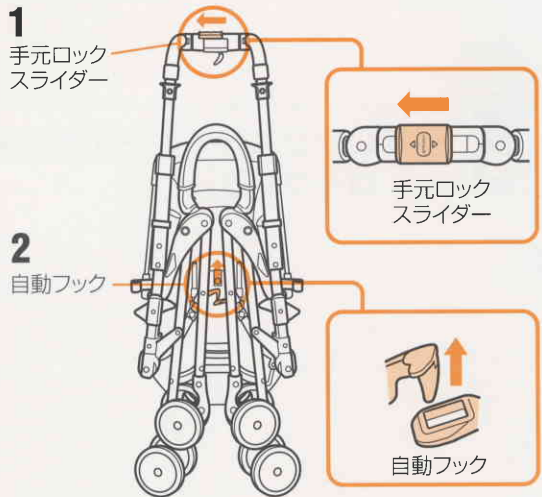
本ベビーカーは、3段階に折りたたむことができます。
梱包されている状態を3面折りコンパクト、手順2の状態を3面折り、手順3の状態を2面折りといいます。

1 両手で左右のコンパクトレバーを持ち、『カチッ』と音がするまで引き上げる。

確実にロックがかかり、ハンドルが下がらないことを確認してください。

2

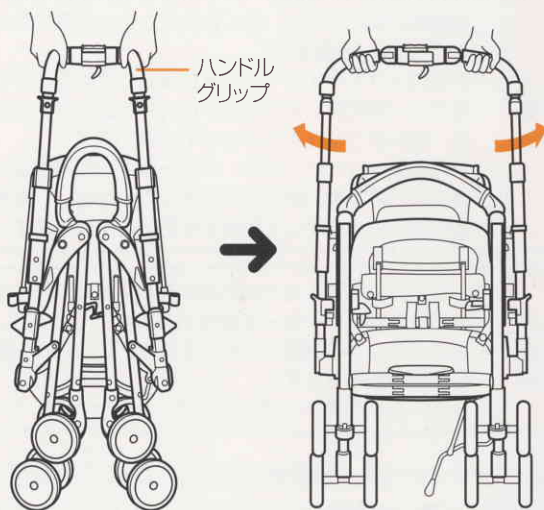
1. 手元ロックスライダーを矢印方向にスライドする。

ロックが解除されます。

2. 自動フックを引き上げてはずす。

<3面折り>

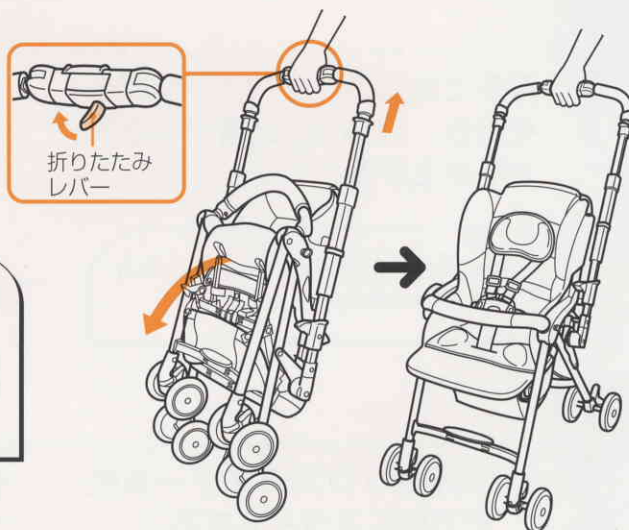
ベビーカーの開きかた

3 ハンドルグリップを握り、折りたたまれているベビーカーを開く。

- 右図の状態を2面折りといいます。
- ベビーカーを開いた状態で、腰ベルトがはみ出したり開閉ロックに引っかかっているときは、ベルトを着脱シートの内側に引っぱってください。

<2面折り>

4 折りたたみレバーを引き上げながら、ハンドルグリップを持ち上げる。

ベビーカーが完全に開き、自立スタンドが収納されます。

ベビーカーを地面につけた状態から折りたたみレバーを握り操作してください。ベビーカーを持ち上げた状態では折りたたみレバーを握っても開かないおそれがあります。

5 手元ロックスライダーを元に戻し、ロックする。

ストッパーの使いかた

⚠警告

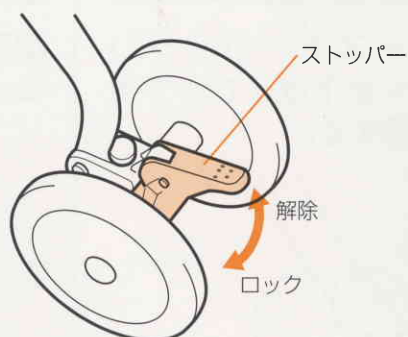
- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 乳幼児を乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

⚠注意

空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全ですと動き出すことがあります。

ベビーカーを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。

ストッパーをロックするとき

1. **左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。**
2. **ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。**

ストッパーのロックを解除するとき

ロックを解除するときは、ストッパーを押し上げる。

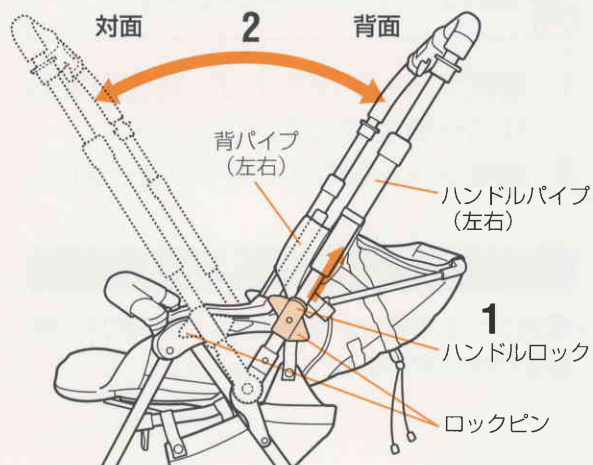
ハンドルの切り替えかた

⚠注意

- 乳幼児がアームレストに手をかけたままハンドルを切り替えますと、手や指をはさむおそれがあります。必ず手をかけていないことを確認してください。
- ハンドルを切り替えるときは、必ずハンドルを上げた状態で操作してください。ハンドルを下げた状態では、ハンドルが幌にあたり、切り替えることができません。
- ハンドルを切り替えるときは、乳幼児の正面側から乳幼児のようすを確認しながら、操作してください。
- 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。
- 車体を開いたりたたんだりするときには、ハンドルロックは操作しないでください。ベビーカーが故障するおそれがあります。

1. **左右のハンドルロックを上に引き上げ、ロックを解除する。**
2. **ハンドルを向きを変えた側のロックピンにしっかりとロックする。**

ハンドルを切り替えた後、次の点を確認してください。

①左右のハンドルロックがロックピンにかかっている。
②ハンドルを上下させても動かない。
③着脱シートが背パイプとハンドルパイプにはさみ込まれていない。

キャスターの使いかた

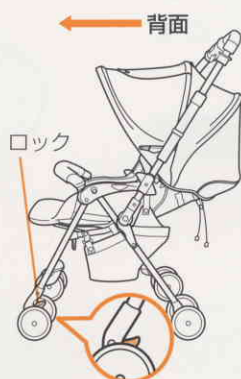
●キャスターを使用すると、平たんな路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。
●キャスターをロックすると、坂道や凸凹の路面で押しやすくなります。

> ⚠注意
> - キャスターをロックする位置を間違えて使用すると、押しづらいだけでなく故障の原因となります。必ず正しい位置でロックしてください。
> - このベビーカーはキャスターをロックしないと折りたためない構造になっています。ベビーカーを折りたたむときは、必ずキャスターを左右ともロックしてください。

キャスターを使用する場合

キャスターロックレバーを下げ、ロックを解除する。

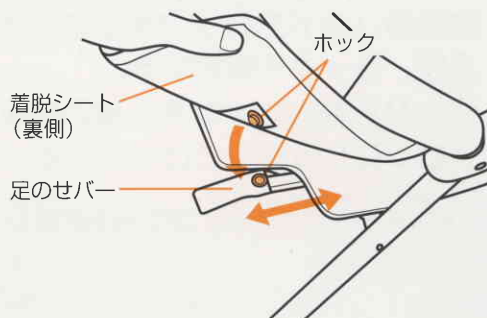
キャスターを使用しない場合

坂道や凹凸のある路面を押すときは、キャスターをロックする。

左右のキャスターロックレバーを上げてロックします。
ロックする車輪位置は対面と背面では違います。ご注意ください。

足のせバーの使いかた

足のせバーは、お子さまが寝たときに、楽な姿勢にできます。

> 使用するときは、必ずホックをとめてください。
> 破損やお子さまのけがの原因となります。

1. 着脱シートを持ち上げ、座面の足のせバーを引き出す。
2. 着脱シートをのせ、ホックをとめる。

収納するとき

着脱シートのホックをはずし、足のせバーを座面の中に押し込む。

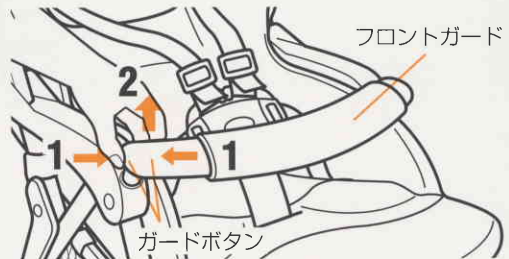
フロントガードの使いかた

⚠警告
- フロントガードに関係なく、乳幼児を乗せるときには必ずシートベルトを締めてください。フロントガードは乳幼児の抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ガードボタンは乳幼児には操作させないでください。落下などのおそれがあります。

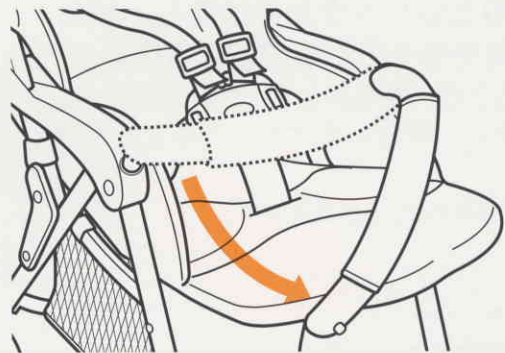
⚠注意
- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損や乳幼児のけがの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。

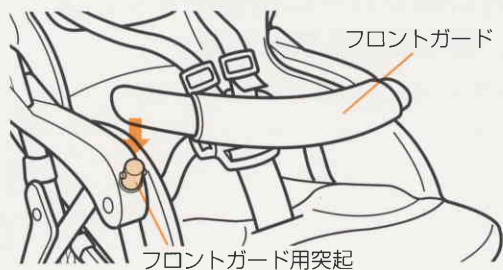
お子さまの乗せ降ろし時にフロントガードを開くと、足などが引っかかりません。

1

1. 2つのガードボタンを矢印方向に押しながら、
2. フロントガードを上に引き抜く。

2

手をはなすと、フロントガードは自然に下がります。

フロントガードの開閉ができるのは正面から見て左側だけです。

3

閉じるときは、フロントガードをフロントガード用突起に合わせて上から押し込む。

幌の使いかた

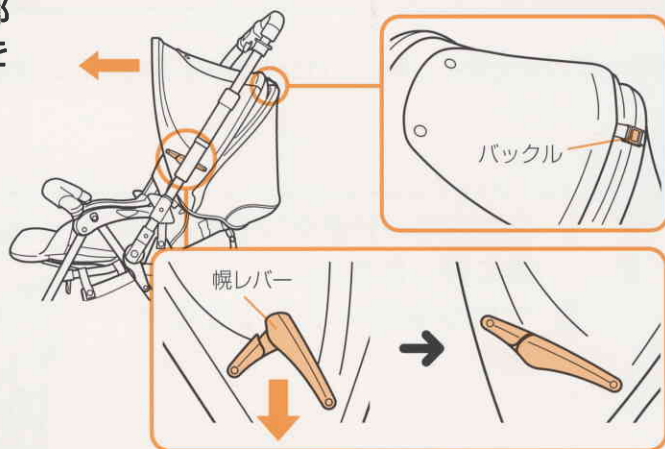
●幌を取り付けていても、ベビーカーはそのまま折りたたむことができます。折りたたむときは、必ず幌を後側にまとめてください。
●幌の取り付けかたについては、21ページをご覧ください。

幌のサイズを変える

●幌のサイズを2段階に調節できます。

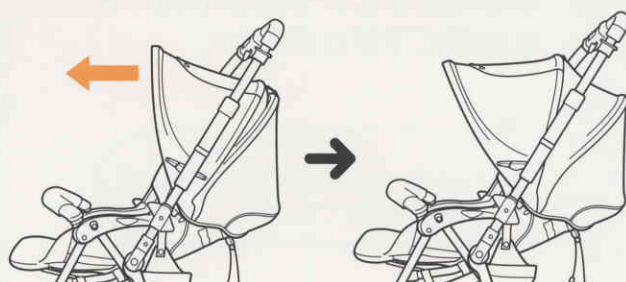
小さなサイズで使用するとき

幌を前に広げ、幌レバーの間接部を押し下げて幌の上のバックルをとめる。

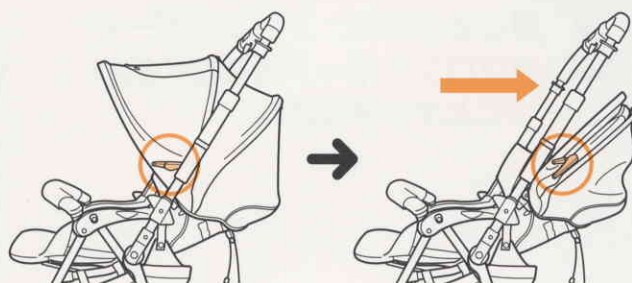
※イラストは、BU-620です。

大きなサイズで使用するとき

幌の上のバックルをはずし、幌の根元をもってさらに前に広げる。

このとき、幌の上のバックルがとまっていると、完全に広げることができません。

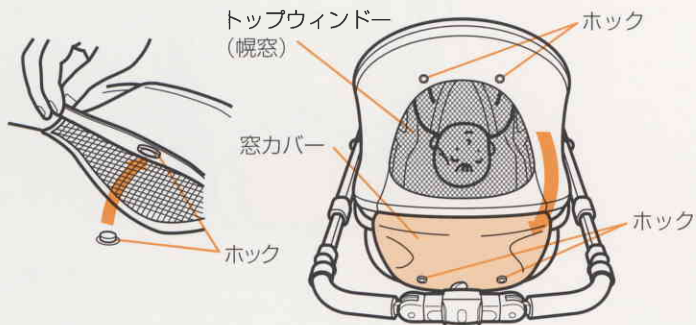
※イラストは、BU-620です。

収納するとき

左右の幌レバーの関節部を引き上げ、幌を後側にまとめる。

※イラストは、BU-620です。

トップウィンドー(幌窓)の開きかた

窓カバーを開けると、お子さまのようすを見ることができます。

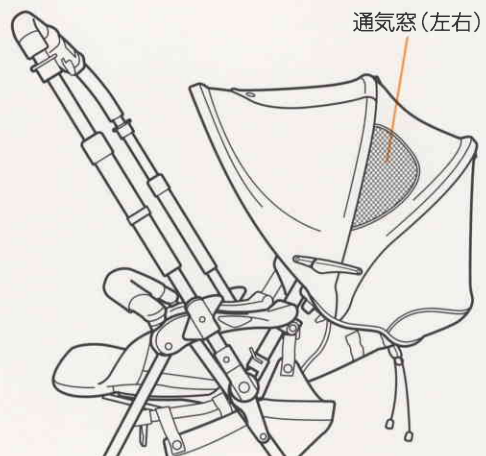
幌窓を開くとき

窓カバーの2個のホックをはずす。

幌窓を閉じるとき

窓カバーの2個のホックを幌のホックにとめる。

エアースルーシステム(通気窓)の使いかた(BU-720)

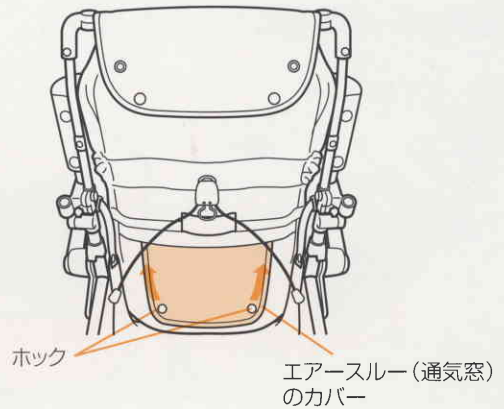
幌を大きなサイズにすると、通気窓(左右)として使用できます。

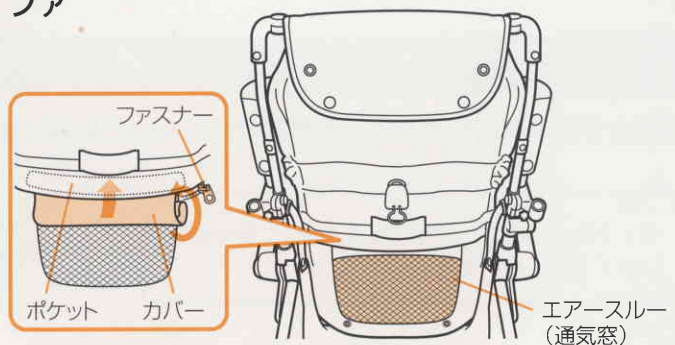
サイドからの日差しが気になるときは、幌を小さいサイズにしてご使用ください。

ベビーカーの使いかた

エアースルー（背面通気窓）の使いかた

●ベビーカーの背面（ベースシート）には、暑い時期やムレるときなどにお子さまが快適に過ごせるようエアースルー（通気窓）が付いています。

エアースルー（通気窓）を開くとき

1. 背面のエアースルーカバーの2ヵ所のホックをはずします。

2. カバーを内側に巻いて、エアースルーの上部ポケットに収納し、ファスナーを閉じます。

ベビーカーの使いかた

シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた

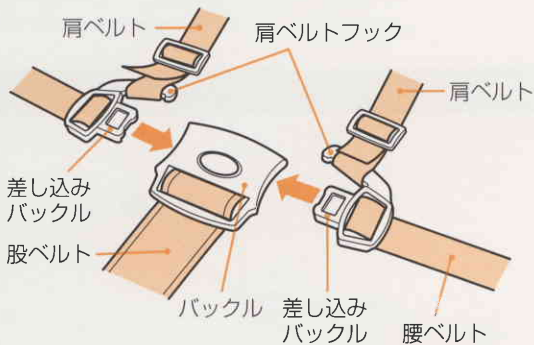
⚠警告

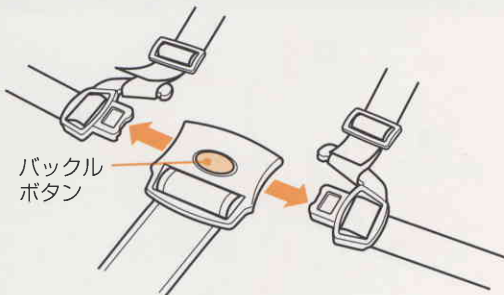
- 乳幼児を乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全ですと、使用中に乳幼児が落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さは乳幼児の体に合わせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。
- 肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。乳幼児の首を圧迫するおそれがあります。

シートベルトとは、股ベルトと腰ベルト、肩ベルトの総称です。

シートベルトの締めかた、はずしかた

シートベルトを締めるとき

1. 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかける。
2. 股ベルトを引き出し、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。
3. 肩ベルト、腰ベルトを引っぱって、はずれないことを確認する。

シートベルトをはずすとき

股ベルトのバックルボタンを押す。

お子さまへの装着のしかた

1. お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトを合わせる。
2. 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかけ、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込む。

- リクライニングを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。
- 長さ調節時に差し込みバックルをはずしたときは、「腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた」(23ページ)をご覧になり、確実に取り付けてください。
  取り付けかたが不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。

シートベルトの調節のしかた

腰ベルトの調節のしかた

差し込みバックルのベルト通し(ⒶⒷⒸ)

1. バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶ からはずす。

2. 腰ベルトを左右にひっぱり、ベルトの長さを調節する。

3. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶ から裏側に通す。

腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

股ベルトの長さ調節

股ベルトの長さを調節するには、はじめに❶調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、❷バックルを引っぱり、短くするときには、❸ベルトの端を引っぱる。

股ベルトは、取りはずしできません。

肩ベルトの長さ調節

肩ベルトの長さを調節するには、はじめに❶調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、❷の方向に引っぱり、短くするときには、❸の方向にを引っぱる。

※ラダーは肩ベルトから、取りはずしできません。

リクライニングの使いかた

警告
- 乳幼児を乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

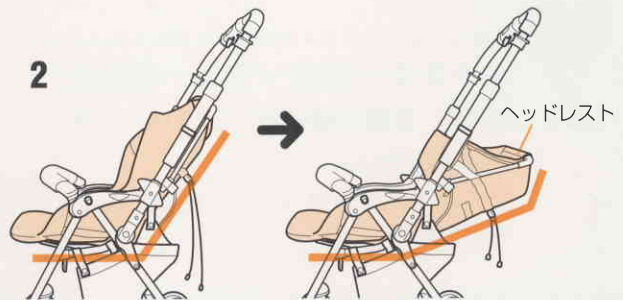
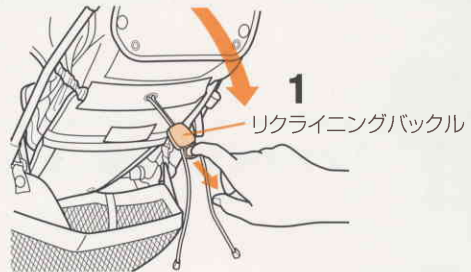
注意
- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。非常に危険です。
- 乳幼児を乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。
- 乳幼児を乗せたまま背もたれを倒すときは、他方の手で乳幼児の体重を支えてください。
- お座りができない乳幼児の場合は、リクライニングを倒した状態でご使用ください。
- リクライニングを一番倒した状態でも乳幼児が窮屈な場合は、リクライニングを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この使用方法は寄りかかってお座りができる乳幼児に限ります。

リクライニングの倒しかた

※お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。

1 リクライニングを使うときは、片方の手でお子さまの体重を支える。

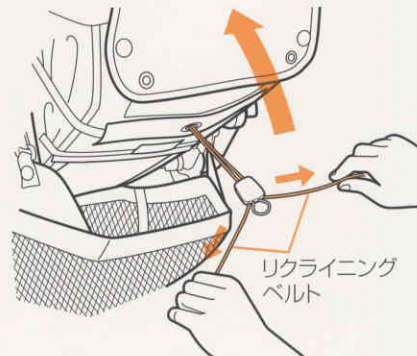
2
1. 他方の手で、リクライニングバックルの中央リングを引っぱる。
2. リクライニングを倒す。

ヘッドレストが起きあがってきます。
（ムービングヘッドガード機能）

ヘッドレストの位置に頭がくるお子さまの場合には、リクライニングを倒したときに無理な姿勢になりますので、ヘッドレストが起き上がらない位置でとめてください。

リクライニングの起こしかた

1 リクライニングを起こすときは、お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングベルトを左右に引っぱる。

お子さまの体重を背もたれにかけたままでは、起こすことができません。

ベビーカーの使いかた

折りたたみかた

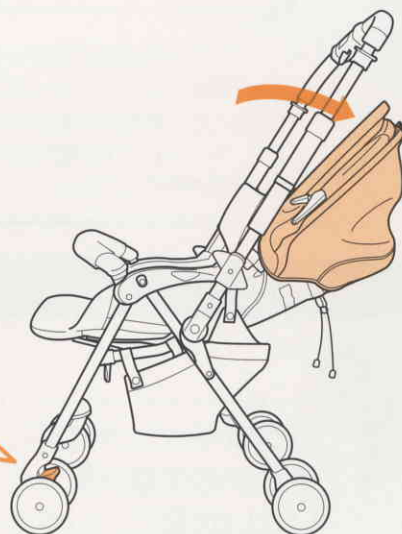
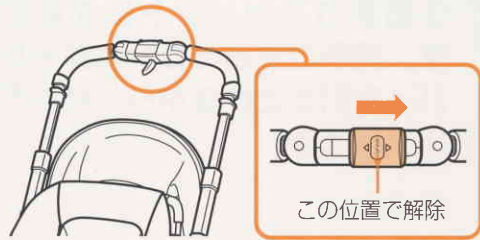
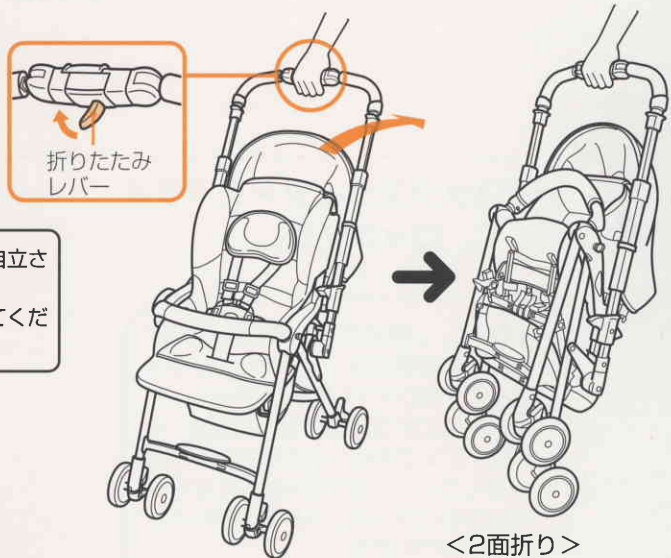
⚠注意

- 手元ロックスライダーは折りたたみ後、必ずロックしてください。また、折りたたみ操作時以外は握らないでください。
- 手元ロックスライダーをスライドさせずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。
- 何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じがあった場合には、一度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむと自立スタンドが出ます。自立スタンドに無理な力を加えたり、持ち運びの際にぶつけたり、引きずったりしないようにしてください。自立が不安定になったり破損するおそれがあります。
- 折りたたむ前に、買い物カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- 折りたたむ前に、幌が完全に折りたたまれていることを確認してください。幌の変形や破損の原因になります。
- ハンドルの高さ調節は、車体を3面折りにした状態で行ってください。車体を開いたままや、2面折りの状態で高さ調節をすると、折りたたみレバーが故障するおそれがあります。

●幌を取り付けていても、ベビーカーはそのまま折りたたむことができます。折りたたむときは、必ず幌を後側にまとめてください。
●本ベビーカーは、2面折りの状態でもロックがかかります。

1 ハンドルを背面位置にする。（「ハンドルの切り替えかた」8ページをご覧ください）

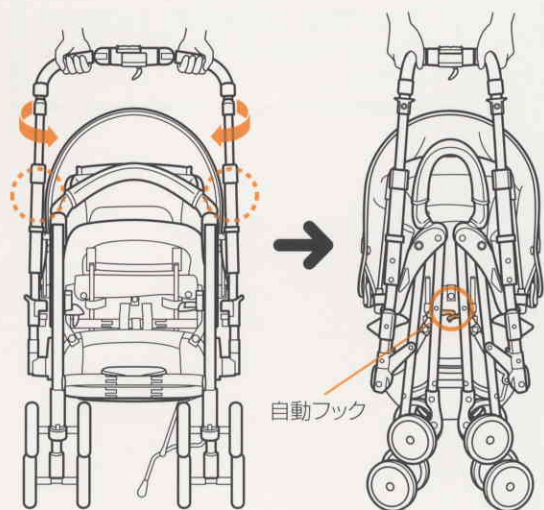
2 キャスターをロックし、幌をたたむ。（「幌の使いかた」11ページをご覧ください）

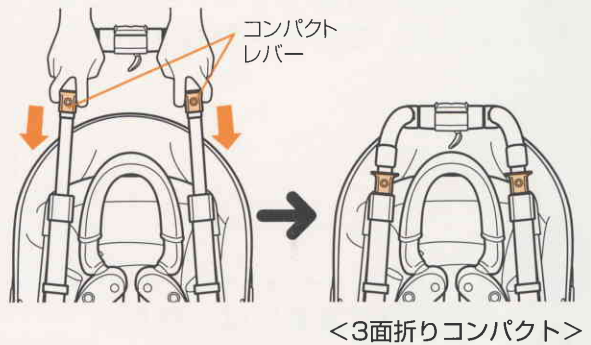
このとき、キャスターの向きは図のようにします。

3 手元ロックスライダーをスライドして、ロックを解除する。

4 2面折りにするには、折りたたみレバーを引き上げながら、後車輪を支点にして矢印方向に倒す。

<2面折り>

⚠注意
2面折りの状態では、ベビーカーを自立させることができません。
自立させる場合には、3面折りにしてください。

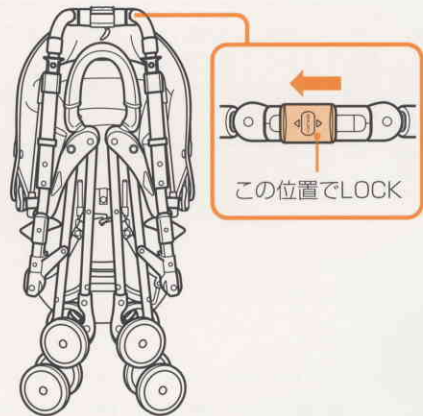
5 3面折りにするには、折りたたみレバーから手をはなし、左右のハンドルグリップを逆手で持ち、内側にたたむ。

必ず自動フックがかかったかを、確認してください。

フックがかかりにくい場合は、右図のハンドルパイプの(◌)部分を持って再度、折りたたんでください。

<3面折り>

6 3面折りコンパクトにするには、両手で左右のコンパクトレバーを引き上げながら、ハンドルを下げる。

<3面折りコンパクト>

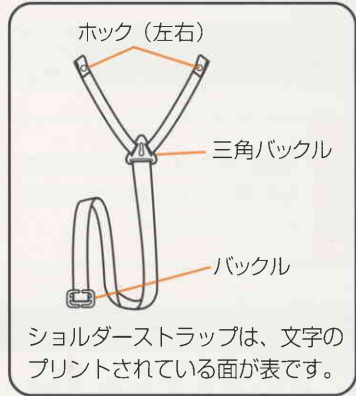
7 手元ロックスライダーをスライドして、ロックする。

- 2面折り、3面折り、3面折りコンパクト、どの状態でも、必ず手元ロックスライダーをロックしてください。
- スムーズに折りたためないときは、リクライニングを倒した状態で折りたたんでください。それでも折りたたみにくいときには、バックルをはずして折りたたんでください。
- 折りたたむときに着脱シートやシートベルトをはさみ込むと、折りたためません。無理に力を加えず、いったん開き、はさみ込んでいるものをはずしてください。

ショルダーストラップの使いかた

ショルダーストラップは、ベビーカーを手軽に持ち運べるよう、折りたたんだ状態で肩からかけるためのベルトです。

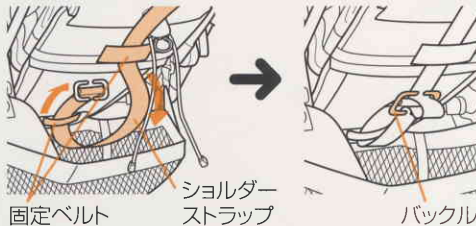
⚠警告 ショルダーストラップは、ベビーカーを使用するときには、必ず買い物カゴに収納してください。障害物などに引っかかって転倒のおそれがあります。

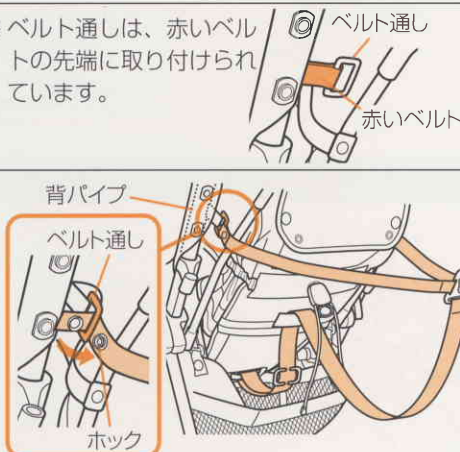
⚠注意 混雑した場所でベビーカーを肩にかけることは、他人の迷惑になることがありますので、ショルダーストラップは使用しないでください。

ショルダーストラップは、文字のプリントされている面が表です。

取り付けかた

1 ベビーカーを開く。

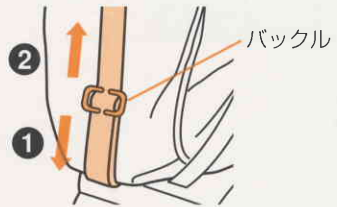
幌は、いったんはずしておきます。
詳しくは、「幌の取り付けかた、はずしかた」（21ページ）をご覧ください。

2 ショルダーストラップの下端のベルトをベースシート裏側の固定ベルト（2ヵ所）に通し、バックルでとめる。

3 ショルダーストラップの両端の2本のベルトを、ねじれないように背パイプのベルト通し（2ヵ所）※に通し、ホックでとめる。

※ベルト通しは、赤いベルトの先端に取り付けられています。

4 ベビーカーを折りたたむ。

折りたたむ前に、幌を取り付けてください。

5 ショルダーストラップの長さをバックルで調節する。

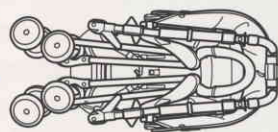
ストラップを短くするには、バックルを持ってベルトを❶の方向に引きます。
ストラップを長くするには、バックルを持ってベルトを❷の方向に引きます。

6 ベビーカーを肩にかける。

ショルダーストラップを収納するときは、三角バックルを買い物カゴの上端にはさんでください。

ベビーカーの使いかた

部品の取り付けかた・はずしかた

幌の取り付けかた、はずしかた

⚠注意　保管の際には、幌の変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を重ねたりしないでください。また、高温になる場所での保管もおやめください。

取り付けかた

1. ハンドルを対面位置にする。

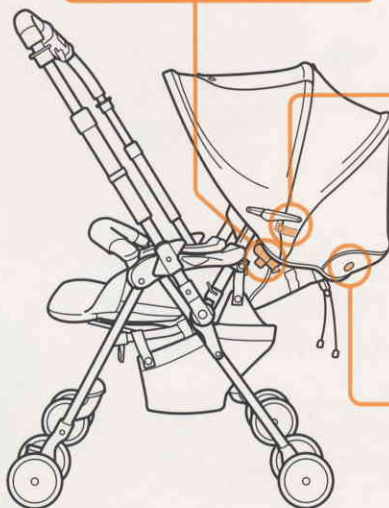
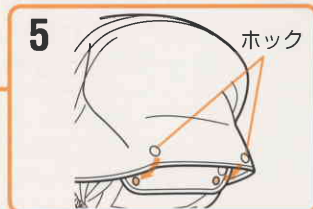
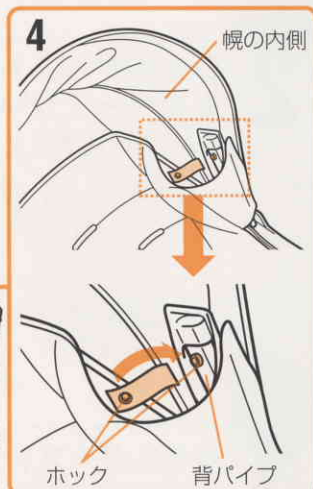
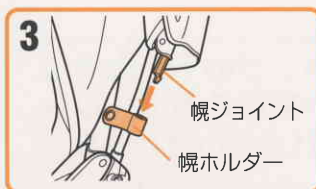
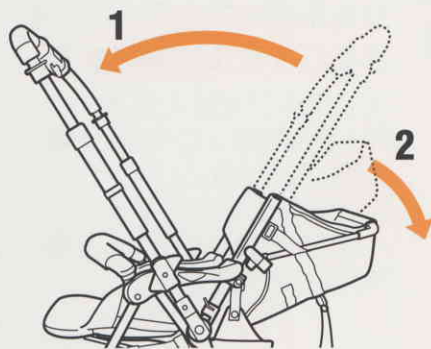
詳しくは、「ハンドルの切り替えかた」(8ページ)をご覧ください。

2. 背もたれを1番下まで倒す。

詳しくは、「リクライニングの使いかた」(16ページ)をご覧ください。

3. 幌の前後を確かめて、幌ジョイントを幌ホルダーにしっかり差し込む。

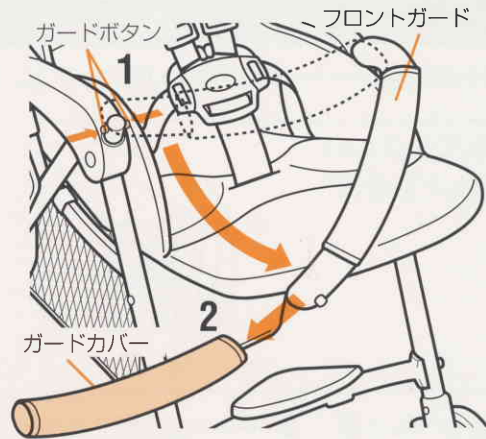
4. 幌内側の左右各1個のホックを背パイプにとめる。

5. 幌の後部にある2個のホックをとめる。

はずしかた

幌の後部にある2個のホックと幌内側の左右各1個のホックを本体からはずし、幌ジョイントの下端をつまみながら、引き抜く。

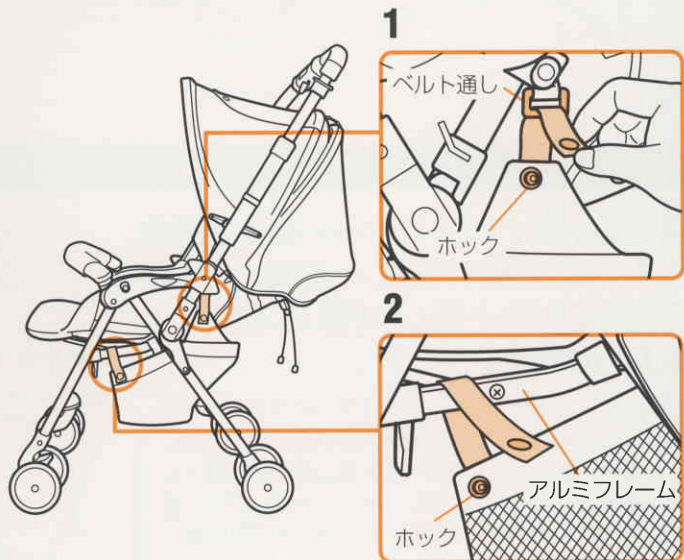
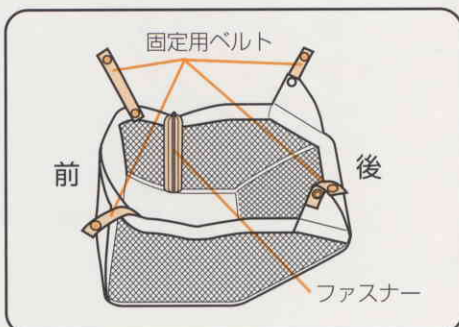
部品の取り付けかた・はずしかた

ガードカバーのはずしかた

1. ガードボタンを押して、フロントガードをはずす。
2. フロントガードからガードカバーをはずす。

買い物カゴの取り付けかた

⚠注意
- 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- 角のとがったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。カゴの変形および破れの原因となります。
- ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になります。

※荷物について
●できるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように乗せてください。
●荷物の出し入れには、カゴ側面のファスナーを開けると便利です。

1. カゴ後部左右の固定用ベルトを、アームレスト後部の左右のベルト通しに通し、ホックでとめる。
2. カゴ前部左右の固定用ベルトを、着脱シート側部の左右アルミフレームにホックでとめる。

シートベルトの取り付けかた

腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた

※「腰ベルトの着脱シートへの取り付け」については、29、30ページの手順「1」と「5」をご覧ください。

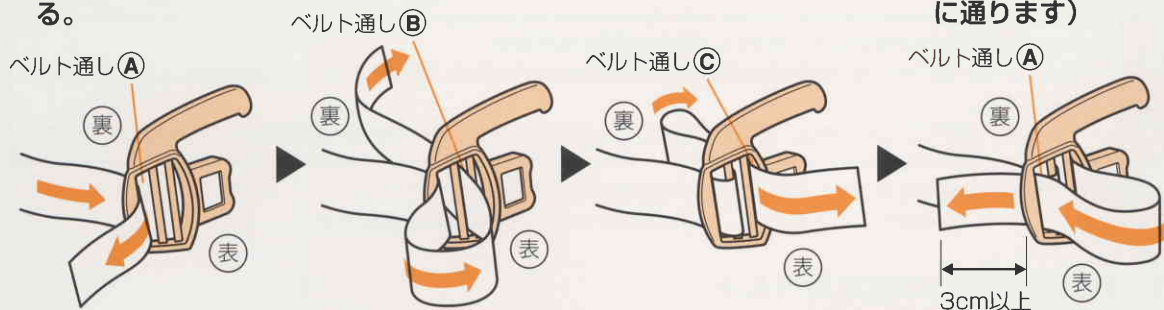
差し込みバックルのベルト通し(ⒶⒷⒸ)

⚠注意 差し込みバックルへの取り付けかたが、不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。

1. バックルのベルト通しⒶに腰ベルトを通す。このとき、腰ベルトはバックルの裏側から表側に向ける。

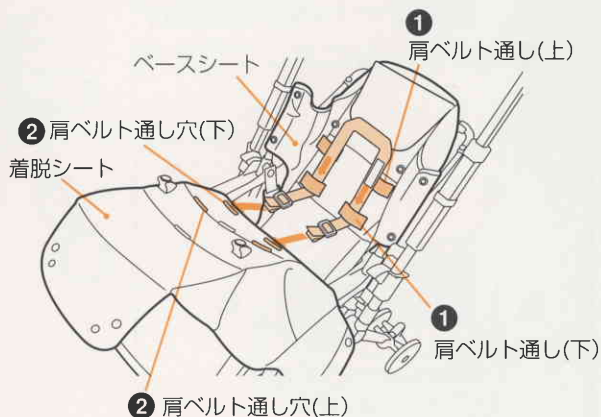
2. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒷ から裏側に通す。

3. バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しⒸ から表側に通す。

4. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶから裏側に通す。(ベルト通しⒶには腰ベルトが2重に通ります)

※ 腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

肩ベルトの取り付けかた

肩ベルトは、ベースシート側の左右のベルト通し(❶)に通し、着脱シート側の左右のベルト通し穴(❷)に通して、取り付けます。

- 肩ベルトをベースシートの肩ベルト通し(上)に通した場合、着脱シートの肩ベルト通し穴(上)に肩ベルトを通してください。また、肩ベルト通し(下)に通した場合、着脱シートの肩ベルト通し穴(下)に肩ベルトを通してください。
- リクライニングを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。
- 肩ベルトは、注意ラベル側を表にして使用してください。

エッグショックαパッド(BU-720)/エッグショックパッド(BU-620)の取り扱いかた

●サポートクッションと着脱シートには、走行中の揺れからお子さまを守る“エッグショック(α)パッド”を入れることができます。
●エッグショック(α)パッドは洗濯できません。

お子さまの頭がヘッドレストの位置までくるようなときは、ヘッドサポートをはずし、エッグショック(α)パッドを着脱シートに入れ替え、使用してください。

サポートクッション(ヘッドサポート)でご使用の場合

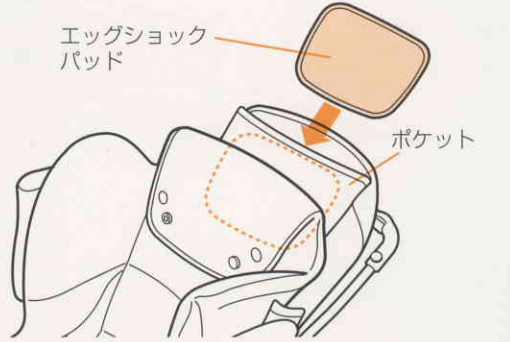
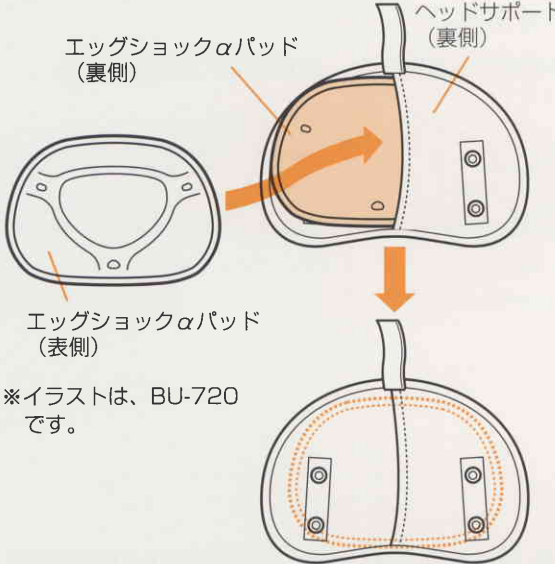
注意 ヘッドサポートをご使用になられる場合、必ずエッグショック(α)パッドを入れてご使用ください。

裏側から出し入れする。

※イラストは、BU-720です。

着脱シートでご使用の場合

着脱シートのヘッドレスト裏側にあるエッグショックパッド用のポケットに出し入れする。

※イラストは、BU-620です。

部品の取り付けかた・はずしかた

サポートクッションの取り付けかた

⚠注意
- ヘッドサポートをご使用になられる場合、必ずエッグショック(α)パッドを入れてご使用ください。
- リクライニングを起こした状態で使用する際、お子さまの頭がヘッドレストの位置にくる場合には、ヘッドサポートを使用しないでください。
- やぶれやほつれの発生したサポートクッションはそのまま使用しないでください。中のクッション材をお子さまが飲み込んだり、サポートクッション本来の機能がはたせなくなるおそれがあります。

●サポートクッション(ヘッドサポート+ボディーサポート)は、お子さまの体格にあわせた取付位置でお使いください。

ヘッドサポートの取付位置の目安

ヘッドサポートは、お子さまの首のあたりにクッションが当たるように取り付けてください。

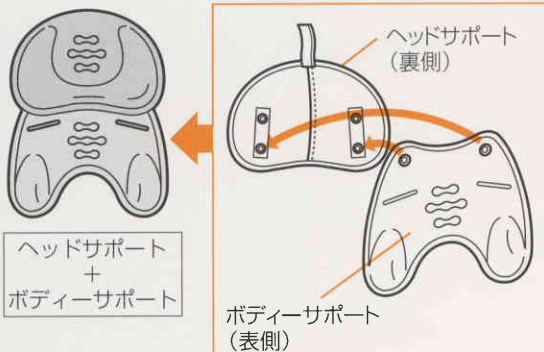
ボディーサポートの取付位置の目安

ボディーサポートは、お子さまの体の脇にクッションの凸部がくるように取り付けてください。
ボディーサポートは、お子さまの体格にあわせて上下2段階で使用できます。

● 体格の小さなお子さま

●体格の大きなお子さま

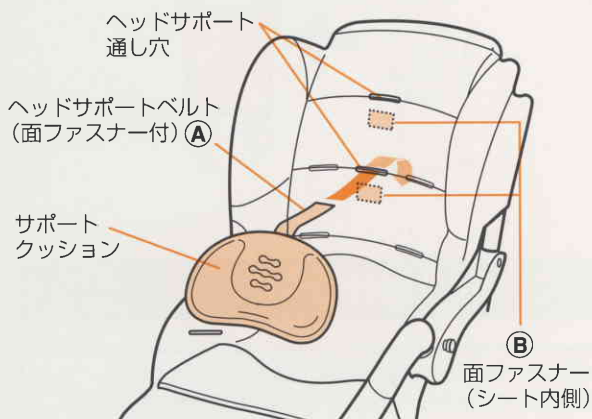
1. ヘッドサポートにボディーサポートを取り付ける(BU-720のみ)

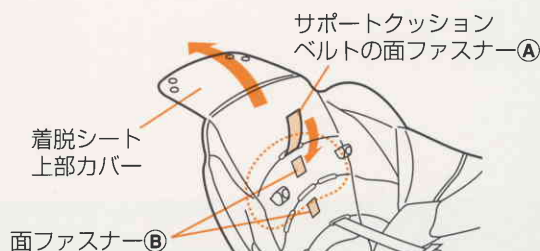
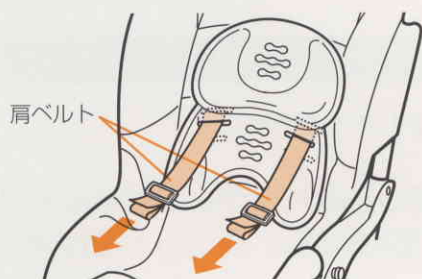
お子さまの体にあわせ、ヘッドサポート裏側のホックにボディーサポートを取り付ける。

●お子さまの体がボディーサポートの凸部内幅より大きい場合

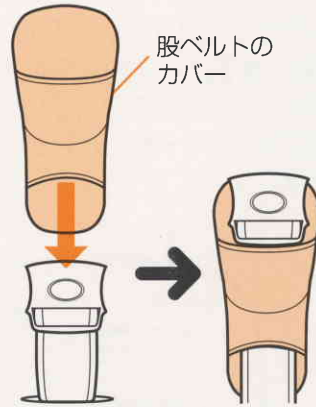
…ボディーサポートで体をサポートすることができないので、ボディーサポートは使用しないでください。

その他

2. サポートクッションを着脱シートに取り付ける。

サポートクッションベルトの面ファスナーⒶを、着脱シート中央にあるサポートクッション通し穴(上下2ヵ所)内側下の面ファスナーⒷ(上下2ヵ所)に取り付ける。

●サポートクッションを取り付けにくい場合

…着脱シート上部のカバーのホック(2ヵ所)をベースシートの裏からはずし、着脱シートの裏側が見えるようにします。
サポートクッションベルトの面ファスナーⒶを、サポートクッション通し穴に通し、面ファスナーⒷに取り付けてください。

3. 肩ベルトをボディーサポートの肩ベルト通しに通す。(BU-720のみ)

股ベルトカバーの取り付けかた(BU-720のみ)

股ベルトにバックルを付けたまま、カバーの内側を通す。

着脱シートのはずしかた、取り付けかた

⚠注意
- 着脱シートを取りはずしたまま乳幼児を乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- やぶれやほつれの発生した着脱シートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、着脱シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- 着脱シートを取り付ける際に、ファスナー、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガや破れなどの原因となります。

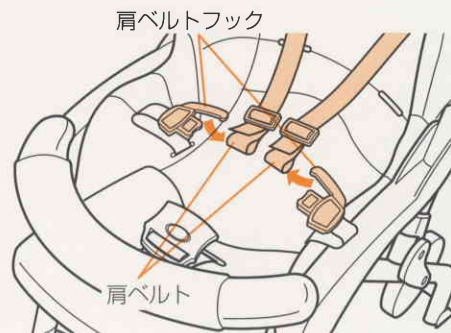
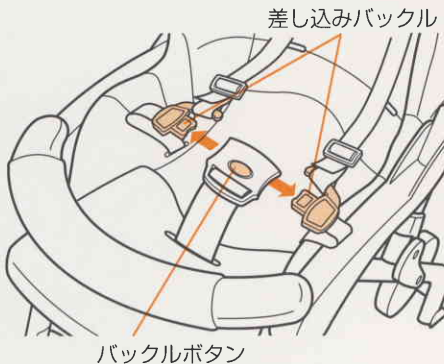
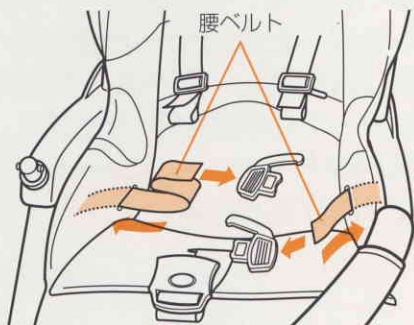
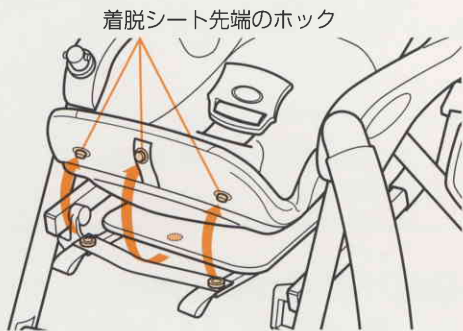
※着脱シートについて

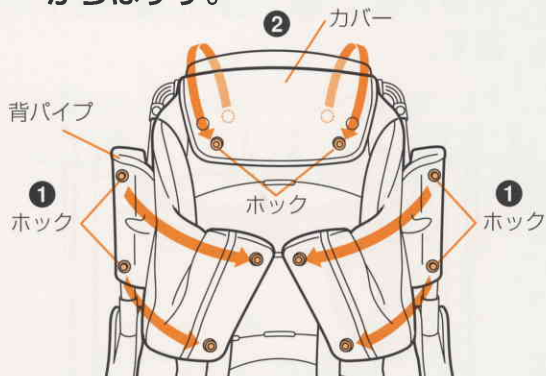
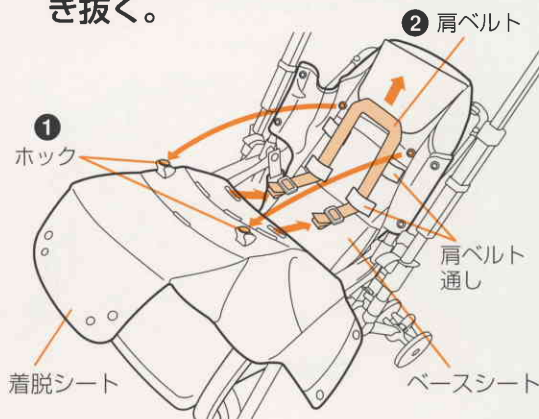
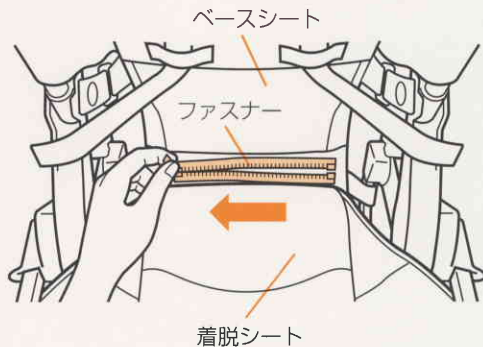
お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、シートに面ファスナーが付着しないように気をつけてください。メッシュ生地に引っかけて傷つけるおそれがあります。

はずしかた

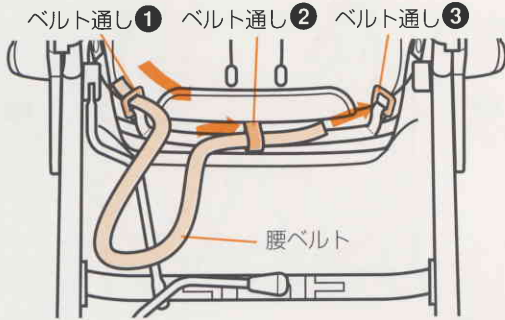
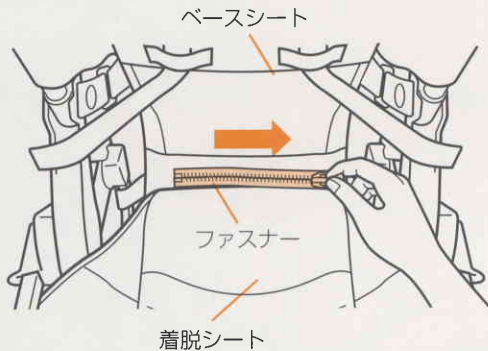
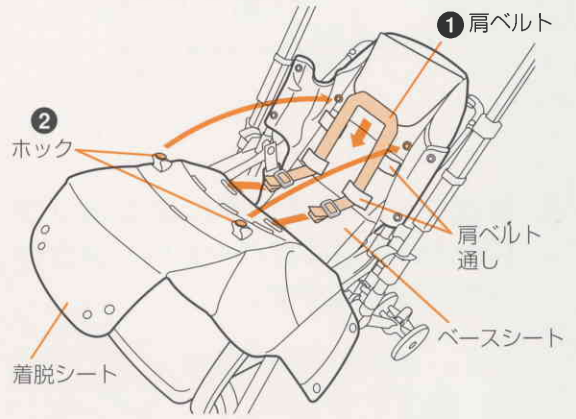
●サポートクッションを使用されている場合は、取りはずしてください。

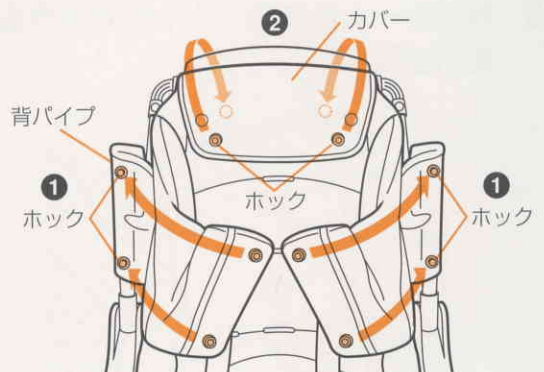
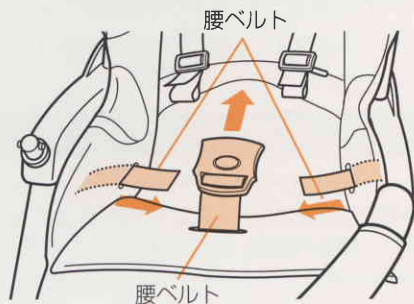
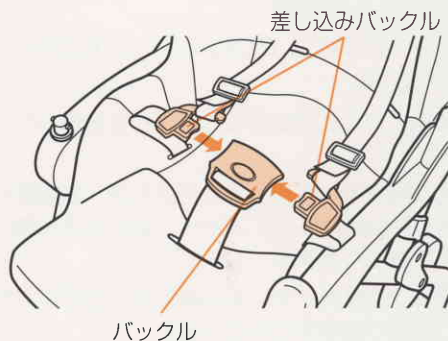
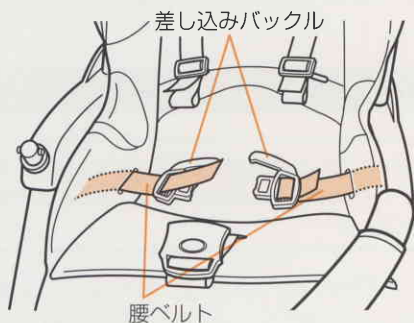
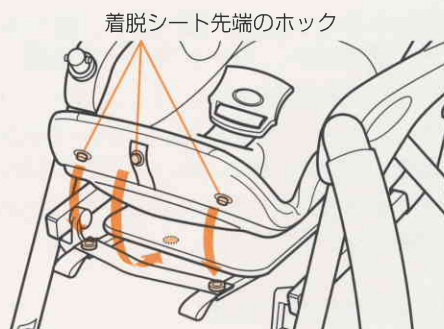
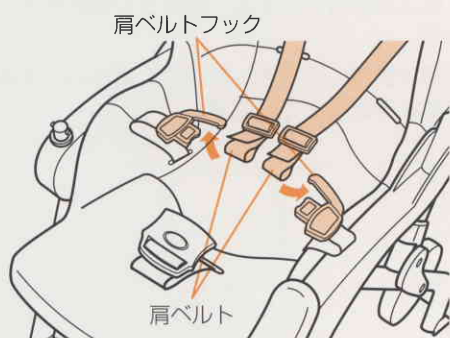
1. バックルボタンを押して、バックルから差し込みバックルをはずす。

2. 差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)から、肩ベルトをはずす。

3. 腰ベルトから差し込みバックルをはずし、本体から腰ベルトを引き抜く。

4. 着脱シート先端内側にあるホック(3ヵ所)を足のせバーとベースシート裏側からはずす。

5. 着脱シートから股ベルトのバックルを引き抜く。

6. ❶背パイプ左右4ヵ所のホックをはずし、❷着脱シート上部カバーのホック(2ヵ所)をベースシートの裏からはずす。

7. ❶着脱シートとベースシートをとめているホック(左右2ヵ所)をはずし、❷肩ベルトを着脱シートから引き抜く。

8. 着脱シートとベースシートの座面をとめているファスナーをはずす。

部品の取り付けかた・はずしかた

取り付けかた

1. ベビーカー背面の座面部分の赤いベルト通し(❶～❸)に腰ベルトを通す。

2. 着脱シートとベースシートの座面をファスナーでとめる。

3. ❶肩ベルトを、ベースシート側の肩ベルト通しと着脱シート側の肩ベルト通し穴に通し、肩ベルトの先端を着脱シートの表側に引き出す。
❷着脱シートをベースシートにホック(2カ所)でとめる。

詳しくは、「肩ベルトの取り付けかた」(23ページ)をご覧ください。

4. ❶背パイプ左右4ヵ所のホックをとめ、❷ 着脱シート上部カバーのホック(2ヵ所)をベースシート裏でとめる。

5. **着脱シートの表側に、腰ベルトと股ベルトを引き出す。**

6. **左右の差し込みバックルに腰ベルトを取り付ける。**

7. **肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかける。**

詳しくは、「シートベルトの取り付けかた」(23ページ)をご覧ください。

8. **差し込みバックルをバックルに差し込む。**

9. **着脱シート先端内側にあるホック(3ヵ所)を足のせバーとベースシート裏側にとめる。**

日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

●着脱シートの洗濯

着脱シートは丸洗いできますが、以下の点にご注意ください。

- 着脱シートの洗濯表示にしたがって洗濯してください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形をととのえて平干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

●サポートクッション、肩ベルト、股ベルトカバー、腰ベルト、ガードカバーの洗濯

- 40℃以下の液温で手洗いしてください。
- サポートクッションや股ベルトカバーを手洗いする場合、きついもみ洗いはしないでください。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形をととのえて、陰干ししてください。

●幌、買い物カゴの洗濯

- 幌や買い物カゴは液中につけず、40℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 幌のプラスチック部分やカゴのホックなどでケガをしないように注意してください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分を拭き取り、陰干ししてください。

※ 製品の特性上、若干色あせすることがあります。
※ 洗濯の際は、天然脂肪酸をベースとした成分で、蛍光剤・漂白剤・酸素などを含まない「コンビおむつ肌着洗い」をおすすめします。また、快適にお使いいただくために、こまめに洗濯することをおすすめします。
※ 保管状態により、カビが発生することがあります。こまめに洗濯をし、清潔に保つように心がけてください。

エッグショックパッドについて

●「エッグショックパッド」は洗濯できません。

※「エッグショックαパッド」についても同様です。

車体の清掃について

車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

● 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

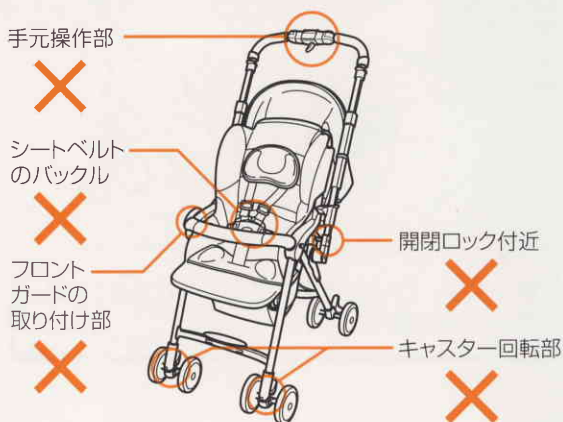
注油について

⚠注意

お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

● きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量、注油してください。
注油するときは、注油箇所の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。

● 下に示す箇所には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

その他

保管のしかた

⚠注意 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

●直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。
屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

●車のトランクに入れて運ぶ場合は、買い物カゴを下にして寝かせてください。

点検とアフターサービスについて

●ご使用中に車体の破損、異常、ネジのゆるみやシートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。
そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。
お問い合わせの際は、後脚後側に貼ってあるシールをご覧になって機種名・ロットNoをお知らせください。

●ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。

●危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。

●お手入れの際に取りはずした商品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。

●本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。
製品使用上は差しつかえありません。

コンシューマープラザ
(Customer Service Center)
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
TEL.(048)797-1000
FAX.(048)798-6109

コンシューマープラザ
(Customer Service Center)／西日本担当
〒550-0014　大阪府大阪市西区北堀江1-1-18
TEL.(06)6536-0456
FAX.(06)6536-4468

廃棄方法について

●お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

●地球環境のため、放置はしないでください。

SG マークの被害者救済制度

SGマークが表示されたベビーカーを、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、赤ちゃんが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

ただし、お買い上げ日より3年以内です。

●賠償についてのご注意

- 認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- 賠償金は製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

●賠償金の請求について

損害を被った消費者(赤ちゃんなどの場合は保護者でもよい)が賠償金を請求するときは、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定するところに届けてください。
製品安全協会　東京都中央区日本橋本町1-5-9　共同ビル7F
TEL. (03) 5255-3631

●事故賠償に必要な項目
① 事故の原因となったベビーカーの現品
イ)製品の名称、SG番号　ロ)製品の購入先、購入年月日
② 事故発生の状況
イ)事故発生年月日　ロ)事故発生場所　ハ)事故発生状況
③ 被害の状況
イ)被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
ロ)被害の状況と程度(医師の証明書)